

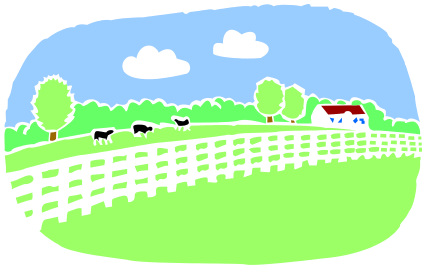
けやき

心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子

5月

横浜市立岡村小学校・学校だより R4.4.28 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/> 岡村小学校で検索



閑雅

横浜市立岡村小学校

校長 川村 真弘

4月は百花繚乱、馥郁と花香り色鮮やかな美しい季節だが、5月を迎えると今度は葉の新緑の美しさに見惚れる。樹木の葉を1枚ずつじっくり見てみると、緑の色彩はそれぞれが微妙に違い、それぞれが違うことでコントラストが映え、葉の1枚1枚が際立つことに気付く。

日本では緑系の色を和名で美しく擬える。例えば、青柳、山葵色、花萌葱、深碧、若葉、花緑青、若菜、鸚緑、深藍色、孔雀緑、柚葉、金春、蒼色、青磁、青竹・・・無限とも言える緑色の案配は自然が成す神業だ。それは、季節によっても、一日の時間帯によっても、あるいは天候によっても、千変万化する。子どもたち一人一人が違うように、あるいは、全てのものが無常であるように、自ら、他者から変化して一様ではない。だから、新緑に心奪われ感動するのだ。それは、子どもたち一人一人の個性に教師の心が躍動する事に似ている。

登校後、授業が始まる前。校庭は一瞬にして静寂に包まれる。校庭の静寂と緑色の木々と光り輝く校舎が織り成す景観は閑雅だ。花や葉に命の息吹と神秘を感じ閑雅な様子に学習の準備と意気込みを感じて、今日もまた子どもたちと過ごす一日が楽しみになる。

5月28日土曜日。「創立60周年記念岡村オリンピック」を開催します。
どうぞお楽しみに。